

# ミーティングの 10のステップ



子どもたちとつくるミーティング（サークルタイム）を、10のステップに分けて詳しく見ていきます。  
園で取り組む際には、まずは1つずつ、ステップを踏みながら進めていきましょう。  
『保育ナビ』の毎月の連載では、現場の先生方からの疑問に、ステップごとに青山先生が答えています。  
本資料と併せて、ご活用ください。

## ステップ概要

### ステップ0

本音を出せる環境があるか

### ステップ1

集まる

### ステップ2

耳を向ける

### ステップ3

声を出す

### ステップ4

傾聴する

### ステップ5

話す

### ステップ6

会話する

### ステップ7

考える

### ステップ8

意見を出す

### ステップ9

考え合う

### ステップ10

そしてまた暮らしへ

## ステップ2

### （おとなの声に）耳を向ける

#### ● まずはおとながおしゃべりを

子どもたちにいろいろ質問しているのに、答えが返ってこないという悩み相談を受けることがあります。まず話し合いの土台をつくるためには、おとなの声に耳を向ける機会を多くもつ必要があります。これは普段やっている絵本の読み聞かせなどでもかまいません。

また子どもが固くなっているなら、おそらくおとなが聞く人、子どもが答える人、という一方的な関係になっているのではないのでしょうか。

人は、人がしゃべっていると、自分もしゃべりたくなるもの。まずはおとながおしゃべりしましょう。

「あのね、今日雨が降っていてね。あっ、傘がない！ どうしよう！ って思ったわけ。それで駅まで走ったんだ」

「あのね、ブロックが1つだけ落ちていたのよ。昨日帰る時に全部しまっていたのに。これって、

おばけ？ おばけって、ブロック好きなのかな」「あのね、さっきトイレに行きたくなかったんだけど、ちょうど折り紙折っていたの。トイレ行きたい。でも折り紙置いていって、だれかに持っていかれちゃうかな。でも、でも、ってなってさあ……」

こんなふうにししゃべってから、『あのね……』がある人いる？」と投げかけてみます。

そうすると、「あのね、おばけっているんだよ。トイレに。それでおりがみたべるよ」

「あのね、うちでも、あめもふってた」

「あのね、すなばでやまつくってて、ブランコのってかえってきたら、こわされてた。だれだよ、こわしたの」

という感じで、子どもたちからも話が湧き上がってきます。

まずは子どもたちと気楽におしゃべりする感じで、おとながべちゃくちゃ話してみてください。